

きあらひらかわ

～互いに認め、支えあう、男女（ひと）がきらめく平川市～

オンライン講演会を開催しました（令和3年2月27日）



令和3年2月27日（土）生涯学習センターにて、男女共同参画推進事業講演会を開催しました。

『～コロナ禍だからこそ伝えたい～「SNSと子どもたちの見守り」』をテーマに、一般財団法人インターネット協会主幹研究員の大久保貴世さんにご講演いただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講師の大久保さんは東京からリモート出演し、参加者は会場またはオンライン（Zoom）にて聴講しました。

SNSの利用は年々増加傾向にあり、中でも子ども達の「からだやこころ」にもたらす影響が心配されています。また、SNSを通じたいじめや性犯罪などが問題化しています。子ども達が被害者・加害者にならないためにも、保護者や家族、地域の方々がSNSの安全・安心な利用について学ぶことはとても重要なことです。

国の第5次男女共同参画基本計画では、子どもに対する性的な暴力根絶に向けて、特にSNSを通じた性暴力・性被害の当事者にならないための教育等を推進しており、「SNSと子どもたちの見守り」は男女共同参画の視点からも大変重要だといえます。

参加者は、SNSとの上手なかかわり方、注意すべき点やトラブルに巻き込まれた際の対処法など、講師の詳しい説明に熱心に耳を傾けていました。



会場参加者の様子



市長挨拶（リモート出演）

一度は耳にしたこと
ありませんか？

エス ディー ジーズ
S D G S ってなあに？

SDGsとは、2030年までに達成すべき「**持続可能な開発目標**」です。

簡単に説明すると、わたしたちが地球ですっと暮らしていけるように、**貧困を終わらせ、全ての人に平等な機会が与えられ、地球環境を壊さずに、経済を持続可能な形で発展させ、より良い生活を送ることができる世界を目指すための目標**です。

目標5を詳しく！



17の目標があるんですよ

地球には課題が山積みです。

地球にずっと住み続けるためには、先進国も発展途上国も大人も子どもも、地球に住むすべての人が課題について一緒に考え、解決のために取り組んでいかなければなりません。

皆さんがすでに気を付けて行動していることが、じつはSDGsに関係しています。

まずは、ひとりひとりにできる身近なことからはじめてみませんか。



私たちにできること

寄付・募金

- ・NPO や NGO の団体に寄付や募金をすることで、食料支援や教育支援などへ貢献する

買い物の際の工夫

- ・エコバックを利用するなどプラスチックの利用を避ける
- ・消費期限が近い商品から買ったり、食べきれぬ量の買い物をしてフードロスの削減をする



日常生活での工夫

- ・水道や電気をこまめに消すなど、エネルギーを無駄にしない
- ・ごみの分別ルールをしっかりと守る
- ・外出時には水筒、マイ箸、スプーン等を持ち歩く



職場等での工夫

- ・残業ゼロを目指し、定時に帰るようにする
- ・介護や育児中の人でも働きやすいよう、お互いを認め合い支え合いながら働ける環境を作る
- ・男性は～、女性は～、といった言葉を使わない、考え方をしないようにする

SDGsの中で、男女共同参画に関係の深い「目標5」について詳しくご紹介します。

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー

「男性はこうあるべき」「女性はこうするべき」という社会の中でつくられたイメージや役割分担のこと。

ジェンダー平等

ジェンダーによる男女の格差・偏見・差別などをなくしていこうという考え方。

ジェンダーに関する世界の問題

- ・「女の子だから」というだけで学校に通わせてもらえない子がいます。
- ・子どものうちに本人の意思とは関係なく結婚・妊娠・出産する児童婚の習慣が残っている地域があります。
- ・大人になっても社会に出て仕事をするのが許されない女性が多くいます。
- ・女性を家庭内暴力から守る法律がない国が49か国あります。
- ・先進国でも、男性の方が女性より所得が多く、政治家や研究者に女性が少ないなど、女性が社会で活躍する機会が少ないです。

こうした課題を解決するために、目標5では**女性への差別や暴力をなくし、女性がのびのびと能力を伸ばし、可能性を広げることができるような社会の仕組みづくり**を目指しています。



ジェンダーギャップ指数 日本 120位

ジェンダーギャップ指数とは、**経済・政治・教育・健康**の分野で男女の格差を比べたものです。2021年のジェンダーギャップ指数によると、日本は、世界156か国中「120位」でした。思ったよりも順位が低いと感じた方が多いのではないのでしょうか？

日本の順位が低い要因は「**政治・経済**」の場における格差です。

少しずつ改善へと向かってはいるのですが、政治の場における女性の参画、女性の管理職への起用、女性の雇用条件や待遇の見直し、女性に対する暴力の根絶、育児や家事・介護への男性の参加など、まだまだ課題は山積みです。



私たちも、自分を見つめ直し、「男性だから」「女性だから」という意識を少しずつ変えることで、ジェンダー平等の実現に少しずつ近づいていくのではないのでしょうか。

「きあらひらかわ」について

「きあら (chiara)」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

ジェンダーチェック

あなたはジェンダーについてどんな認識を持っているのか、診断してみませんか。

家庭・家族編 ※質問事項に「はい」「いいえ」で答え、チェック☑をつけてください。	はい	いいえ
1. 妻が外出すると、夫の機嫌が悪いのはしかたがない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 父親が子どもの友だちの名前がわからないのは仕方ない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 子どもの教育や家庭内の重要なことは、父親の意見が優先されるべきである。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 女の子には優しくかわいらしく、男の子には強くたくましく育てほしい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 家事の手伝いをつい娘にさせてしまう。または、男の子が家事の手伝いをしなくても気にならない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 子どもの担任との連絡は母親の役割であると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 子どもが小さいうちは、母親が側にいるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 台所は妻（女性）の城である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 妻が仕事をするのはいいが、家事の手抜きをするのは好ましくない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

判定結果 「いいえ」はいくつありましたか？

0～4個	良く言えば古風で伝統的な家庭を築いているようです。でも、性別役割の固定された家庭で、本当にひとりひとりが「自分らしい」生き方をしていますか？男は仕事、女は家庭という古い常識を、少し疑ってみましょう。
5～7個	家庭での男女の性差や役割分担について、まだ少しこだわりがあるようですね。また、夫婦(男女)の間に上下関係はないつもりでも、まだまだ夫中心、男性優位になっていることが多いようです。性別に対するこだわりを思い切って取り除き、一番身近なところから意識と行動を見直していきましょう。
8～10個	性別にこだわらず、自分らしい生き方ができる自由で自立した家族ですね。家族全員が協力し、尊重し合いながら、男女平等な家庭を築いていることでしょう。あなたのジェンダーにとらわれない考え方を、周りの家族にも波及させて、快適な生活の場を広げていきましょう。

青森県男女共同参画センター／ジェンダーチェック

<http://www.apio.pref.aomori.jp/gender/about/check/>

「イクボス宣言」企業支援事業 ～募集中～

ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくりに取り組む市内企業等を増やし、企業等における従業員の士気や生産性の向上、優秀な人材の確保や定着、企業イメージの向上を支援するとともに、活気ある街づくりのため、「イクボス宣言」をする企業に対し、対象経費を助成する事業です。

1. 対象企業：市内に事業所を有する企業（複数企業での申請も可）
2. 対象経費：「イクボス宣言」実施に係る講師の招へい費（報償費および旅費）
3. 助成率：対象経費の100%
4. 事業期間：令和4年3月10日までに実施したもの

※申請は令和4年2月10日まで

※ご興味のある方・企業は下記までご連絡下さい



【発行元】 平川市教育委員会生涯学習課

〒036-0102 平川市光城二丁目30-1（平川市文化センター）

TEL:0172-44-1221

E-mail:shougaigakushuu@city.hirakawa.lg.jp

